

## 音響ソリューション

## 避難誘導支援システム

従来の放送システムに加え、  
来訪者に合わせた映像・音声・通信による  
メッセージを提供。



消防庁は、「外国人来訪者や障害者等が利用する施設における災害情報の伝達及び避難誘導に関するガイドライン」を策定、公表。本ガイドラインでは、デジタルサイネージやスマートフォンアプリ等の活用などによる避難誘導等の多言語化、文字等による視覚化、障害など施設利用者の様々な特性に応じた対応が示されています。

消防庁では、本ガイドラインを駅・空港や競技場、旅館・ホテル等の関係施設に周知するとともに、各施設における取り組みを促しております。これを受け、当社では「多言語放送／サイネージ／情報配信」に加え、「監視カメラ連携」を実現する『避難誘導支援システム』をご提案いたします。

「外国人来訪者や障害者等が利用する施設における災害情報の伝達及び避難誘導に関するガイドライン」の主な内容 (2018年3月29日 消防庁公表)

### <施設において取り組むことが望ましい事項>

- 1 デジタルサイネージやスマートフォンアプリ、フリップボード等の活用などによる災害情報や避難誘導に関する情報の多言語化・文字等による視覚化
- 2 障害など施設利用者の様々な特性に応じた避難誘導(避難の際のサポート等)
- 3 外国人来訪者や障害者等に配慮した避難誘導等に関する従業員等への教育・訓練の実施

避難誘導支援システムは、従来の放送システムに加え、来訪者に合わせた映像・音声・通信によるメッセージを提供します。

### 多言語放送 >>> 多国語による音声メッセージ放送をします。

- 3～4ヶ国語(日・英・中・韓)での放送を実現。
- 非常放送設備の多言語メッセージを起動し、自動的に館内への放送を行います。
- 多言語放送ソフトウェアにより、オリジナルのメッセージ放送も可能です。



### 監視カメラ連携 >>> 出火階のカメラ映像に自動的に切り替えます。

- 統合監視システムとの連携を実現。
- 放送情報連動インターフェースから、統合監視システムへ信号を送り、対象階のカメラの映像へ自動的に切り替え表示させます。



### サイネージ >>> 多言語によるメッセージで、緊急時における情報を表示します。

- 放送と連動し、多言語による情報をサイネージへ表示。
- 放送情報連動インターフェースから、サイネージシステムへ信号を送り、火災・地震・津波発生などの情報を表示させます。

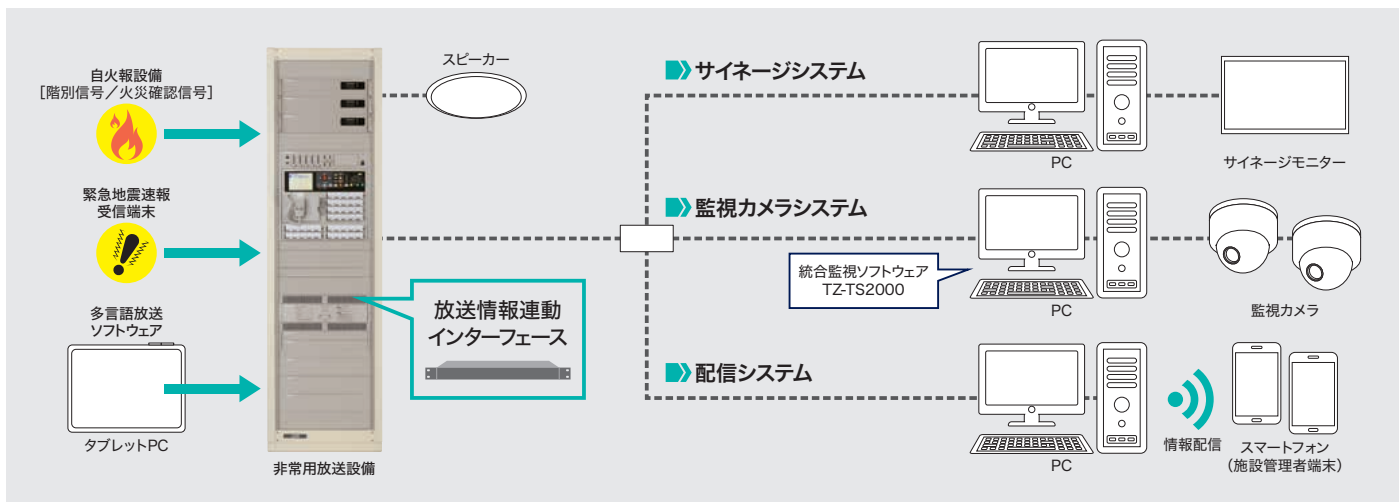


### 情報配信 >>> 配信システムによる情報配信の拡張性を備えます。

- 放送情報連動インターフェースからの信号を利用して、配信システムへ信号を送り、アプリまたはメールによる情報を施設管理者へ配信する拡張性を備えます。
- ※別途、配信システムが必要です。



## システム構成例



## サイネージ表示例



## ユースケース

自治体庁舎・公共施設・空港・競技場



多言語放送

サイネージ

情報配信

商業施設・アミューズメント施設・宿泊施設



多言語放送

サイネージ

監視カメラ連携

情報配信

## 導入事例

横浜市役所 様【神奈川県横浜市】

非常・業務用放送設備 避難誘導支援システム

横浜市役所は、みなとみらい線馬車道駅直結の新庁舎を2020年1月に竣工、6月に共用を開始。新庁舎には、JVCの非常・業務用放送設備 (EM-1500 シリーズ) が導入されました。また、館内のマルチサイン設備と連動して非常時情報を表示可能な、当社の「避難誘導支援システム」が導入・運用されています。



庁舎外観



放送設備



マルチサイン

●仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。●写真と実際の商品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。●画面はi/メコミ合成です。